燃料節約装置の
株式会社 エス･エス･ティー

セラミックオイルフィルター

燃料節約装置

型式: SP200-600W
(A 重油/C 重油用)

取扱説明書

株式会社　エス・エス・ティー
〒720-0046　広島県福山市今町 1 番 18 号
TEL(084)925-7111　FAX(084)925-7112

１．装置概要

燃焼機関の燃油節約を目的とした、高性能セラミックオイルフィルターです。

２．仕　様・しくみ

・本装置は、フィルター部（２本）と分岐台で構成されます。フィルター部の内部を燃油が通過することにより、燃油の燃焼効率を高めます。

３．据付時および運転前の準備

・装置本体が倒れないように、かつ垂直に架台を固定してください。傾けて設置しないでください。
・トラブル防止のため、装置本体は既設燃料ラインより分岐させてバイパスライン上に取り付けをお願いいたします。
・高温に対する安全養生は、周辺機器を考慮してお客様で施工願います。
・フィルター内部のセラミック交換時にはチェーンブロック必要になりますので、天井付近にフックを設けてください。
・燃料の入出方向が決まっていますので据付の際には注意してください。分岐台に設置方向を表示しております。

４．運転前の準備

・異物が混入しないよう燃料配管のフラッシングの完了確認をお願いします。
・油漏れなきよう各配管接続部の確認をお願いします。
・装置本体から燃焼機関までの間にストレーナーを設置してください。

５．装置本体への給油

・Ａ重油が流れている状態で装置本体に燃油を充填し、装置本体内部のエアー抜きを行ってください。エアー抜き時には燃油の圧送圧力がかかっていますので注意してください。
・エアー抜きを完全に行い燃料配管のバルブを開けてください。エアー抜きが不十分な場合装置の効果が低下したり、エンジントラブル等の原因になります。
・配管接続部の油漏れ、燃油の流れに異常がないか確認をしてください。

６．運転上の注意事項

a.）　運転開始時には、必ず装置本体から燃焼機関への油圧を確認してください。また、Ｃ重油への切り替え時にも必ず油圧を確認してください。装置通過前後で油圧が大きく低下する場合には、バイパスラインに切り替えてください。また、装置内部でＣ重油が滞留した場合は装置の使用を避けてください。

b.）　装置内部をヒーティングしたＣ重油が通過中は（また通過後も）、装置本体が高温になり

ます。装置本体への接触の際は注意をしてください。

c.)　装置本体への最初の燃油の充填は必ずＡ重油でお願いします。
万一、装置内部でＣ重油が滞留した場合は、装置の使用を避けてください。

d.)　装置本体の分解・改造はしないでください。

e.)　装置本体内部のセラミックは、１年毎に交換をお願いいたします。

記載内容追加　　項目３下線部二行追加　2009 年 7 月 14 日